

鉄道社員のウェアラブルカメラの導入について

1. 目的

事故・災害・トラブル等が発生した際に現地の様子を迅速かつ正確に把握し、その後の適切な判断・対処に繋げることを目的に、鉄道社員がウェアラブルカメラを使用することがあります。

2. ウェアラブルカメラ

- ・Safie Pocket2 plus（右図左側）



3. 試験導入実施箇所

列車添乗を行う現場および駅巡回を行う現場

4. 運用方法

- ・鉄道社員が胸等に装着し、駅構内、車内の巡回中に使用します。
- ・事故・災害・トラブル発生時等にカメラ映像を事務所にリアルタイムもしくは録画にて確認します。

5. 導入日

2026年4月28日（火）

6. その他

- ・撮影した映像データは事故・災害・トラブル発生時の適切な判断・対処を行う目的でのみ使用します。
- ・取得した映像データについては、一定期間保存後消去します。

以上